

# 平成 28 年度公益社団法人長野県社会福祉士会事業報告

## I 総括的事項

平成 28 年 4 月 1 日登記が完了し当会は公益社団法人としてスタートしました。これにより、当会には一層公益的な活動が求められ、長野県における責任も増してきました。県民の日常生活に欠くことのできない事業を展開する団体となったと言う事であります。6 月 4 日には、長野大学において公益社団化記念として福祉まるごと学会を開催しました。「社会福祉士・社会福祉士会の未来を語る」と題し日本社会福祉士会の松山茂樹副会長、中村英三長野大学学長、宮島渡元会長よりエールを送っていただきました。

7 月には相模原市の障がい者支援施設での大量殺傷事件を受け、いち早く会長声明を発出しました。これは、「究極の人権侵害であり、虐待であり、生命の尊厳を冒瀆するものである。」との認識、容疑者の間違った考えに危機感を覚え作り上げた物です。この声明は全国的にも高い評価を受け、差別解消法セミナーで中央から招いた尾上浩二 DPI 副議長からも早い段階でこの声明が発せられたことに勇気を与えられたと称賛のお言葉をいただきました。倫理綱領上もこの活動は私達の使命であり社会に対する責任でもあります。

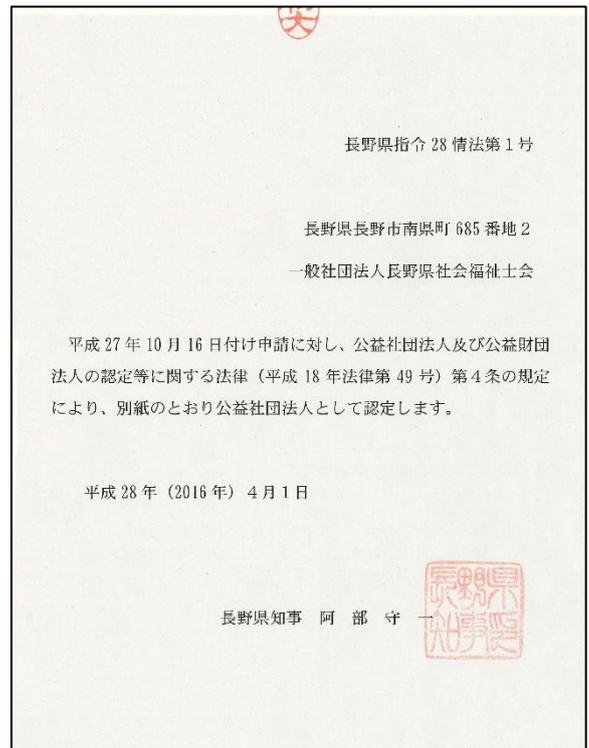
各委員会、地区役員選出のための 4 地区での総会、各種セミナーも定着してきました。長野県は広く縦に長いため多くの会員が全県で集うことは困難です。より顔の見える関係性の構築を進め、各地域・圏域の独自性が強まることでしょう。また、まるごと学会や各種セミナー・シンポジウムは福祉社会の実現のため、社会啓発のため企画実施し、福祉の専門職団体・長野県社会福祉士会の存在のアピールに貢献しました。

研修事業では、昨年に引き続き基礎研修全科目修了者 34 名を輩出しました。研修参加者数は他県に比べ多く、新潟県、山梨県との相互乗り入れは定着し有効に機能しました。また、社会福祉士実習指導者講習会、社会福祉士国家試験受験対策支援の統一模擬試験の実施、高齢者虐待対応現任者標準研修を実施して会員以外にも研修の機会を提供しました。

虐待対応では 4 月に県弁護士会との専門職チーム派遣協定を高齢に引き続き、障がい分野でも締結しました。その際、専門職チームの派遣を促進するよう県健康福祉部長への要望活動を行っています。弁護士会とはこの活動の他、協働の研修会やセミナー・研修会への相互講師派遣など連携を密に行ってきました。さらに、7 月には県内の福祉職 5 団体が共催してソーシャルワーカーデー企画として災害福祉フォーラムを実施しました。災害時のネットワーク構築とともに職能団体のさらなる連携の第一歩となりました。

平成 29 年 4 月 1 日現在の本会会員は 1,077 人、この 1 年間で 67 人の会員を迎えましたが、退会者も多く実質 41 人の増に留まりました。そして組織率は 30.3%と低迷していますが、全国的には上から 6 位の位置で、また人口 10 万人当たりの会員数は 51.3 人となり全国第 3 位となっています。

今年度の事業実績・教訓を活かしながら、我々長野県社会福祉士会員は公益社団法人の組織の一員として、ソーシャルワーカーとしてさらなる前進が求められています。



## Ⅱ セミナー等開催事業

### 1 福祉まるごと学会

#### (1) 平成28年度 福祉まるごと学会

- ① 企画 福祉まるごと学会運営委員会
- ② 日時 平成28年6月4日(土) 13:20~16:20
- ③ 会場 長野大学4号館・リプロホール
- ④ 参加者 182人
- ⑤ 内容

○ 実践レポート 正会員20人(高齢者、障がい者、児童・教育、地域福祉、権利擁護の5分野)

第1分科会 高齢者関係	第2分科会 障がい者関係	第3分科会 児童・教育関係	第4分科会 地域福祉関係	第5分科会 権利擁護関係
中野 純	勝又小百合	斎藤百合子	新保 賀朗	比田井直樹
伊藤 浩志	木島美佐子	宮寄 貞子	佐々木俊介	小高 朗
和田健太郎	林 裕子	有田 和美	小林 俊之	三村 仁志
花川あづま	竹内 雅智	塩原 賢一	山崎 博之	矢澤 秀樹

#### ○ 公益社団移行 記念鼎談

- ◇ テーマ：社会福祉士・社会福祉士会の未来
- ◇ 鼎談者
  - 松山茂樹氏(新潟医療福祉大学 学科長・日本社会福祉士会副会長)
  - 中村英三氏(長野大学 学長・前本会理事)
  - 宮島 渡氏(日本社会事業専門職大学院特任教授・アザレアンさなだ総合施設長・元本会会長)

#### (2) 災害福祉支援フォーラム

##### (ソーシャルワーカーデー連動企画)

- ① 企画 災害福祉支援プロジェクト
- ② 日時 平成28年7月23日(土)
- ③ 会場 長野県看護協会会館(松本市)
- ④ 参加者 70人
- ⑤ シンポジウム
  - ◇ テーマ 「災害派遣福祉チーム(DWAT)の立ち上げを目指して」
  - ◇ 講演 「岩手県災害派遣福祉チームの立上げと定着に向けた取り組み」
    - 都築光一氏(東北福祉大学総合福祉学部教授)
  - ◇ 熊本地震支援活動レポート
    - 山崎博之氏(長野県社会福祉協議会主事・本会会員)
    - 本木智恵子氏(ジョイフル岡田デイサービス・県介護福祉士会会員)
  - ◇ パネルディスカッション
    - パネラー 県社会福祉士会・県介護福祉士会・県介護支援専門員協会・県医療社会事業協会・県看護協会
    - 都築光一氏(前掲)

信濃毎日新聞 (H28.7.24 朝刊)

### 「災害派遣福祉チーム」論議

松本県内で態勢づくり目指し

県社会福祉士会(松本県内五つの福祉専門職の団体が23日、災害被災地で「福祉避難所」などの支援に当たる「患者、障害者らを受け入れる災害派遣福祉チーム(DWAT)」の仕組みづくりに向けたフォーラムを、松本市で開いた。岩手県にDWATの制度化を提案した都築光一・東北福祉大学教授(地域福祉論)が講演し、長野県内の福祉関係者らとパネル討論をした。DWATは、事前登録した被災地で、社会福祉士らが個別に支援に入ったものの、組織的に活動できなかった反省などから、岩手県がDWATを制度化したと説明。同県のDWATが熊本地震でも活動したことを紹介した。7人が参加したパネル討論で、山崎仁美・県介護福祉士会長は「異なる専門職が一つのチームをつくるため、指命令系統を明確にする必要がある」と指摘。土屋恭子・県看護協会専務理事は「福祉の専門職がチームで活動するようになれば、看護師との情報交換もよりスムーズにでき」と期待した。



DWATの仕組みづくりに向け、県内の福祉関係者らが発言したパネル討論。23日、松本市

(3) 累犯障がい者・高齢者の支援を考えるセミナー

- ① 企画 定着支援センター運営委員会
- ② 日時 平成28年11月2日(水) 13:00~16:30
- ③ 会場 松本市浅間温泉文化センター 多目的ホール
- ④ 参加者 102人
- ⑤ 内容

○ 講演

- ◇ テーマ「罪に問われた障がい者・高齢者の実情と今後の課題」

◇ 講師：山本讓司氏(作家・元衆議院議員)

○ シンポジウム

- ◇ テーマ「累犯障がい者・高齢者の支援方法について」

◇ シンポジスト

- 山本讓司氏(前掲)
- 犬飼厚氏(養護老人ホーム松寿荘 副所長)
- 堀川勝己氏(NPO法人まいペース理事長)
- 桑原行恵氏(府中刑務所・福祉専門官)
- 堀米美聡氏(県弁護士会会員高齢者・障害者支援センター委員)

◇ コーディネーター

- 小池正志(長野県地域生活定着支援センター長)

(4) 「介護の日」普及県民の集い

- ① 主催 「介護の日」普及実行委員会

※ 構成団体：長野県社会福祉士会／長野県介護福祉士会／長野県社会福祉協議会／長野県介護支援専門員協会／長野県高齢者福祉事業協会／長野県介護福祉士養成施設連絡会／長野県社会福祉法人経営者協議会／長野県身体障害者施設協議会／長野県老人保健施設協議会

- ② 日時 平成28年11月11日(金) 13:00~16:30
- ③ 会場 長野市若里市民ホール
- ④ 参加者 516人
- ⑤ 内容

- 介護ロボットのデモンストレーション
- 介護事業所職員によるバンド演奏、長野県シニア大学長野学部アトラクション、長野音楽療法研究会発表、介護福祉士会認知症レク部会発表
- 介護カフェ(介護相談・福祉相談)、福祉機器・用品等の展示、介護食の紹介・試食等
- 介護技術の演習(日常介護の技術的工夫)
- 会員スタッフ：三村仁志、小林俊之、池内慎、中澤純一、曲淵紀子、竹内春美、高島隼人、栗林幸隆、田村幸樹、渋澤昌也

(5) 重症心身障がい児・者シンポジウム

- ① 企画 県社士会・中信地区
- ② 日時 平成28年12月9日(金) 13:00~16:30
- ③ 会場 松本市総合社会福祉センター
- ④ 参加者 95人
- ⑤ 内容

- 第1セッション 現場の声  
養護学校進路指導教諭 福祉施設看護師 ほっぷらいふ
- 第2セッション 「地域生活支援拠点整備事業」について  
上小圏域障害者総合支援センター 所長 橋詰 正氏
- 第3セッション 今後の進め方  
長野県障がい支援課 障がい福祉幹 樋口忠幸氏

累犯高齢者・障害者  
松本で支援セミナー  
軽微な犯罪で刑務所への入退所を繰り返す高齢者や障害者の支援を考えるセミナーが2日、松本市浅間温泉文化センターであった。県内の福祉関係者ら100人余が、犯罪を重ねてしまう障害者を支援する弁護士や施設職員らの報告を聞いた。



報告。執行猶予判決が出るまでの数カ月間に障害の特徴を把握して必要な支援を考えたが、受け入れ先を見つけないに苦労したと言い、「犯罪者という理由で福祉関係者に断られることも多い」とした。犯罪を繰り返す高齢者を受け入れている長野市の養護老人ホームの犬飼厚・副所長は「受け入れた累犯者は特に問題は起していない。過去の経歴ではなく、施設内の集団生活になじめるかなどを重視している」と話した。府中刑務所(東京)の桑原行恵福祉専門官は「受刑者は年々減少しているが高齢の受刑者には増え、4人に1人の割合で支援が必要となっている。出所後の受け入れ先を紹介しているが「高齢者の中には『生み出られない』と考え、施設に入ること拒否する人も多い」と指摘した。県地域生活定着支援センター(長野市)が主催。自らの服役中に障害がある受刑者らの問題を自らの当たりとした経験をもとめた「獄窓記」の著者で元衆議院議員の山本讓司さんの講演もあった。

#### 第4セクション 夢を語る

長野こども療育推進サークル ゆうテラス 亀井智泉氏

##### (6) 障がい者差別解消に向けての地域セミナー in 須坂 (県補助事業)

- ① 主催 長野県社会福祉士会、長野県、長野県身体障害者福祉協会、須坂市社会福祉協議会
- ② 日時 平成28年12月15日(木) 13:30~16:30
- ③ 会場 須坂市文化会館メセナホール
- ④ 参加者 162人
- ⑤ 内容
  - 講演 障がいを理由とした差別の解消に向けて
    - ◇ 講師 尾上浩二氏(DPI日本会議副議長、前内閣府障害者制度改革担当室政策企画調査官)
  - シンポジウム 一ともに生きる福祉の地域づくりをめざして一
    - ◇ シンポジスト 尾上 浩二氏(前掲)
    - 〃 池田 純氏(特定相談支援事業所 ジェイハート代表)
    - 〃 富岡由紀子氏(須坂市手をつなぐ育成会副会長)
    - 〃 神屋 初枝氏(須坂市保健補導員会会長)
    - ◇ コーディネーター 三村 仁志(長野県社会福祉士会長)

##### (7) 障がい者差別解消に向けての地域セミナー in 伊那 (県補助事業)

- ① 主催 長野県社会福祉士会、長野県、長野県身体障害者福祉協会、伊那市社会福祉協議会
- ② 日時 平成29年2月22日(水) 13:30~16:30
- ③ 会場 伊那市公民館
- ④ 参加者 92人
- ⑤ 内容
  - 講演 障がいを理由とした差別の解消に向けて
    - ◇ 講師 尾上浩二氏(DPI日本会議副議長、前内閣府障害者制度改革担当室政策企画調査官)
  - シンポジウム 一ともに生きる福祉の地域づくりをめざして一
    - ◇ シンポジスト 尾上 浩二氏(前掲)
    - 〃 池田 純氏(特定相談支援事業所 ジェイハート代表)
    - 〃 市川 直哉氏(サークルひまわりのたね代表)
    - 〃 唐澤 深雪氏(上伊那郡内小学校PTA)
    - ◇ コーディネーター 三村 仁志(長野県社会福祉士会長)

##### (8) 総合事業を実際の取り組みから学ぶセミナー

~実践報告から考える現状と課題、それぞれの役割とは~

- ① 企画 中信地区
- ② 日時 平成29年2月18日(土) 13:30~16:30
- ③ 会場 松本市松南地区公民館
- ④ 参加者 70人
- ⑤ 内容
  - 第一部 実践報告
    - ◇ 川端 恵美氏(御代田町) 長野県で最初の総合事業の取り組み
    - ◇ 北條 悟氏(松本市) 中信地区の取り組み①
    - ◇ 坂口 功氏(朝日村) 中信地区の取り組み②
  - 第二部 トークセッション
    - ◇ 新保 賀朗氏(安曇野市・これから実施する自治体)
    - ◇ 川端 恵美氏(御代田町)
    - ◇ 北條 悟氏(松本市)
    - ◇ 坂口 功氏(コーディネーター)

(9) シンポジウム 「援助者のこころの健康について」

ー私たちがより良い支援をしていくために大切なことー

- ① 企画 県社社会・南信地区
- ② 日時 平成 29 年 2 月 18 日 (土) 13:30~16:30
- ③ 会場 茅野市文化センター
- ④ 参加者 40人
- ⑤ 内容 シンポジウム
  - ◇ コメンテーター 濱口 史江氏 (介護老人保健施設 虹の森 医師)
  - ◇ シンポジスト 長田 香織氏 (茅野市役所 こども・家庭相談係長)
  - 河原 淳史氏 (NPO 法人あづみ野 精神保健福祉士)
  - 北沢 将広氏 (介護老人福祉施設さくらの 生活相談員)
  - ◇ コーディネーター 勝又小百合氏 (長野県社会福祉士会理事)

(10) シンポジウム「子どもの貧困を考える」

- ① 企画 県社社会・東信地区
- ② 日時 平成 29 年 2 月 25 日 (土) 13:00~16:00
- ③ 会場 佐久大学
- ④ 参加者 110人
- ⑤ 内容
  - 基調講演 鈴木忠義氏 (長野大学 社会福祉学部准教授)
  - パネルディスカッション
    - ◇ パネリスト 鈴木 忠義氏 (前掲)
    - " 弓田 香織氏 (南信教育事務所 スクールソーシャルワーカー)
    - " 美谷島越子氏 (NPO法人フードバンク信州・副理事長)
    - ◇ コーディネーター 佐藤もも子氏 (東御市社会福祉協議会 まいさぼ東御 相談支援員)

(11) シンポジウム「子どもの貧困、子どもに寄り添う支援」

- ① 共催 日本社会事業大学同窓会長野県支部
- ② 日時 平成 29 年 2 月 25 日 (土) 13:00~
- ③ 会場 長野市柳原公民館
- ④ 参加者 82人
- ⑤ 内容
  - 基調講演 子どもに寄り添う支援とは
    - ◇ 講師 山下英三郎氏 (日本社会事業大学名誉教授)
  - パネルディスカッション
    - ー現場からの発信、私たちの取組み、そして願いー
    - ◇ パネリスト 島田和政氏 (長野市立綿内小教諭)
    - 渡邊貴之氏 (板倉レディースクリニック副院長)
    - 丸山沙織氏 (池田町 社会福祉士)
    - ◇ コメンテーター 山下英三郎氏 (前掲)
    - ◇ コーディネーター 内田 宏明氏 (長野県社会福祉士会理事)

信濃毎日新聞 平成 29 年 2 月 26 日 (日)

貧困支援「地域一体で」

長野でシンポ 教員・医師ら報告

貧困家庭の子どもの支援を考えるシンポジウムが25日、長野市柳原公民館であった。県社会福祉士会が主催し、約80人が参加。小学校教諭や産婦人科医、行政職員が貧困の実態を報告し、地域が一体となって支援する取り組みの在り方について意見を交わした。

長野市綿内小学校の島田和政教諭(59)は「フライバイ」に踏み込んではいけないという風潮がある」と支援の難しさを指摘。まず学校現場で貧困に気づき、地域での支援につなげるネットワークをつくらなければならないと話した。



同市の産婦人科医院副院長の渡辺貴之さん(38)は、シンポジウムで「グルマザールを孤立させないため、妊娠中から支援する大い」の支援をきっかけに、女性が子どもに食事を与えていなかっただけでなく、事例を紹介。個人だけでなく家族も含めた切れ目ない支援の必要性を語った。

日本社会事業大(東京)の山下英三郎名誉教授(70)の講演もあり、子どもを見守る「人」と「場所」を確保することが支援につながることを指摘した。

この日は佐久市でも、同じテーマのシンポジウムが開かれた。

貧困家庭の子どもの支援の在り方を考えたシンポジウム

### Ⅲ 研修開催等事業

#### 1 社会福祉士 基礎研修Ⅰ

- 日 程 平成 28 年 7 月 23 日・10 月 30 日（2 日間）
- 会 場 松本市総合社会福祉センター
- 受講者 60 人
- 講 師 矢澤秀樹／小池正志／廣瀬豊／森田靖子
- 内 容 社会福祉士会の歩み・組織、生涯研修制度、倫理綱領・行動規範の理解等

#### 2 社会福祉士 基礎研修Ⅱ

- 日 程 平成 28 年 5 月 7 日～平成 29 年 1 月 7 日（月 1 回） 9 日間
- 会 場 松本市総合社会福祉センター・松本市浅間温泉文化センター
- 受講者 35 人
- 講 師 青木靖志／森田靖子／矢澤秀樹／森貴男／佐藤もも子／長峰夏樹／西澤範昭  
合田盛人／三村仁志
- 内容等 相談援助、社会福祉援助、ソーシャルワーク、コミュニティソーシャルワーク、社会資源開発、ネットワーク、福祉政策、社会福祉調査、スーパービジョン、権利擁護、実践研修

#### 3 社会福祉士 基礎研修Ⅲ

- 日 程 平成 28 年 5 月 7 日～平成 29 年 2 月 7 日（月 1 回） 10 日間
- 会 場 松本市総合社会福祉センター・松本市浅間温泉文化センター
- 受講者 36 人
- 講 師 廣瀬豊／森田靖子／西澤範昭／合田盛人／三村仁志／佐藤もも子  
長峰夏樹／若林喜久雄
- 内容等 対人援助、事例研究、意思決定の支援、地域における福祉活動、組織マネジメント、リスクマネジメント、福祉サービスの質と評価、スーパービジョン、新人教育 等

#### 4 福祉関係者のための地域ネットワーク実践力養成研修（認定社会福祉士制度 認証研修）

- 日 程 平成 28 年 10 月 8 日・9 日・平成 29 年 2 月 14 日（3 日間）
- 会 場 なんなん広場、松本市総合社会福祉センター
- 受講者 24 人
- 講 師 萱津公子／坂口功／丸山沙織／長峰夏樹／小松真樹／春日優美  
勝見琴江／佐藤もも子
- 内 容 ソーシャルワーク実践におけるネットワーク構築、個と地域の一体的アプローチ、組織・関係機関のネットワーク作り、地域ネットワーク作り

#### 5 社会福祉士実習指導者講習会

- 日 程 平成 28 年 7 月 30・31 日（2 日間）
- 会 場 長野大学
- 受講者 31 人
- 講 師 内田宏明／森田靖子／細田昌義
- 内 容 実習指導概論、実習マネジメント論、実習プログラミング論、実習スーパービジョン論

## 6 社会福祉士全国統一模擬試験

- 日 程 平成 28 年 10 月 2 日 (日)
- 会 場 長野大学
- 受験者 71 人

## 7 高齢者虐待対応現任者標準研修

- 日 程 平成 28 年 6 月 27 日・7 月 8 日・12 日 (3 日間)
- 会 場 長野県総合教育センター (塩尻市)
- 受講者 127 人
- 内 容 高齢者虐待防止法の理解、高齢者虐待対応と権利擁護、初動期段階・終結段階の留意点とポイント総合演習 I・II 等
- 講 師  
外部講師：五味弘行氏 (長野県弁護士会員)  
会員講師：矢澤秀樹 / 金川優子 / 永池幹 / 宮本雅透 / 南澤保徳 / 勝又小百合 / 金箱翼  
ファシリテーター (上記会員を含む)：北澤さつき / 高橋保行 / 渋沢昌記 / 丸茂一樹 / 川瀬初美  
横山昌由 / 加藤和美 / 大井富美子 / 坂口功 / 依田あけみ / 高橋徹也 / 前川智望 / 神津直也  
佐々木公子 / 宮下朋子 / 宮津江利子 / 守屋幹雄

## 8 高齢者虐待対応講師研修 (長野県、長野県弁護士会と共催)

- 日 程 平成 28 年 11 月 22 日 (火)
- 会 場 本 会 場：長野県弁護士会館 (長野市)  
衛星会場：上田・松本・飯田在住会館 (県弁護士会テレビ会議システム利用)
- 受講者 74 人 (社会福祉士 / 33 人、弁護士 / 41 人)
- 内 容
  - 虐待対応研修会  
講義(演習) テーマ 『虐待対応の基礎知識、専門職チームの役割と体制整備』  
講 師 ① 大橋洋介 弁護士 (仙台弁護士会高齢者・障害者委員会委員長)  
講 師 ② 小湊純一 社会福祉士 (宮城県社会福祉士会副会長)

## 9 実践研究発表 (平成 29 年度福祉まるごと学会) に向けた抄録の書き方・発表の方法 講座

- 日 程 平成 29 年 3 月 25 日 (土)
- 会 場 長野大学
- 受講者 14 人
- 講 師 鈴木忠義氏 (長野大学准教授)
- 内 容 基礎研修 II の実践評価・実践研究系科目 I に準じた講義・演習

## 10 講師派遣事業

### (1) 虐待対応専門職派遣 (協定に基づき弁護士とチーム派遣)

- 虐待対応専門職チーム派遣 4 自治体等
- 派遣会員：永池幹 / 金川優子 / 矢澤秀樹 / 宮本雅透

### (2) キャリア形成訪問指導事業 (県補助事業)

- 訪問派遣事業所数 75 事業所
- 研修内訳  
高齢者虐待対応 (22) 接遇・コミュニケーション (16) ターミナルケア・グリーフケア (9)  
成年後見制度入 (5) 職業倫理 (5) 障がい者虐待対応 (5)  
権利擁護 (4) リーダーシップ (3) その他 (6)

○ 派遣会員

青木靖志／青柳與昌／池田純／石川貴浩／伊藤芳子／衛藤史朗／沖弘宣／奥永学／加藤和美  
金川洋／金川優子／金箱翼／上條通夫／萱津公子／川瀬初美／北原俊憲／小池達也／小池正志  
小須田真人／小林俊之／駒村和文／坂口功／佐々木公子／佐藤もも子／渋谷昌記／秦泉寺孝  
杉浦剛／高岡久章／戸崎洋子／永池幹／中村正人／二村高明／平澤大介／福澤智子／三村仁志  
宮島渡／横山昌由

(3) 介護支援専門員研修講師派遣（県社会福祉協議会）

- ① 介護支援専門員 更新研修（実務未経験者）及び再研修「相談面接技術の理解」  
6月1日 長野会場 講師：西澤茂洋 助言者：中野 純、長戸桜子  
8月2日 長野会場 講師：森 貴男 助言者：高岡久章、守屋幹雄  
10月5日 松本会場 講師：守屋幹雄 助言者：森 貴男、中野 純
- ② 介護支援専門員実務研修 専門研修 課程Ⅰ「対人個別援助技術及び地域援助技術」  
6月22日 長野会場 講師：矢澤秀樹 助言者：長戸桜子  
8月24日 長野会場 講師：小池達也 助言者：長戸桜子  
10月25日 松本会場 講師：矢澤秀樹 助言者：長戸桜子
- ③ 介護支援専門員実務研修「相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎」  
12月20日 長野会場 講師：高岡久章、守屋幹雄  
助言者：伊藤直哉、中野純、森貴男、長戸桜子  
1月6日 松本会場 講師：森 貴男  
助言者：西澤茂洋、二村高明、長戸桜子

(4) 他団体からの講師等要請派遣

- ① 信濃町社会福祉協議会（介護職員初任者研修）  
派遣会員：田村幸樹／小池正志／丸山克之／吉澤利政／大蔭智子
- ② (一社)社労士成年後見センター（社労士成年後見人養成研修）  
派遣会員：衛藤史朗／北原俊憲／塩原賢一／倉科準二／守屋幹雄／粕尾涼平
- ③ 長野県木曾地方事務所（権利擁護に関する取組状況調査）  
派遣会員：上條通夫／小池正志／秋葉多岐子
- ④ 松本市社会福祉協議会（松本市認知症サポーター養成講座）  
派遣会員：土屋ゆかり

11 各種審議会・審査会・協議会等委員の推薦

- 長野県介護保険審査会委員 萱津公子
- 日常生活自立支援事業締結審査会委員（長野県社協） 三村仁志
- 後見活動適正化委員会委員（北信圏域6市町村） 野口一輝
- 上小圏域成年後見支援センター運営委員会委員 宮入典子
- 上伊那成年後見センター法人後見受任審査会委員 林 義也
- 長野市成年後見センター専門職調整委員会委員 小池正志
- 長野市高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会委員 渋谷昌紀
- 長野市いじめ問題対策連絡協議会委員 宮崎貞子
- 北アルプス成年後見支援センター運営委員会委員 守屋幹雄
- 長野市認知症支援検討委員会委員 小山順子
- 佐久広域連合成年後見支援センター運営協議会委員 宮澤昭一
- 長野県福祉サービス適正化委員会委員（長野県社協・第三者機関） 合田盛人
- さく成年後見支援センター法人後見受任審査会委員 宮澤昭一

- 松本市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会委員 大谷庄司
- 松本市地域包括ケア協議会委員 横山昌由
- 長野市障害者虐待防止連携協議会委員 青柳興昌
- 北アルプス連合第7期介護保険事業計画作成委員会委員 守屋幹雄
- 伊那市権利擁護ネットワーク連絡協議会委員 関裕一
- 御代田町地域包括支援センター運営協議会委員 金川優子
- 長野県社会福祉協議会理事 青柳興昌
- 権利擁護センターばあとなあ運営協議会委員（日士会） 三村仁志
- 権利擁護センターばあとなあ運営協議会虐待対応専門プロジェクトチーム（日士会） 宮本雅透

## 12 平成29・30年度 介護認定審査会委員の推薦

- 長野広域 ; 高橋保行、青木正心、田村幸樹、立松進治、長谷川弘樹、青柳興昌、高島隼人  
小池輝明
- 上田広域 ; 宮下明子、蒲生俊宜、掛川敦、細野みどり
- 佐久広域 ; 佐々木公子、大塚寛美、神津直也、川瀬初美
- 北アルプス広域; 守屋幹雄、荒井俊光
- 松本広域 ; 杉本博志、清澤秀彦、塩原賢一、倉科準二、山田洋、三木千弘
- 諏訪広域 ; 山田紀子、進藤竜一
- 上伊那広域; 西澤智美、矢澤澄香
- 南信州広域; 林篤史、大澤孝史

## 13 平成29・30年度 障害支援区分認定審査会委員の推薦

- 長野広域 ; 澁澤昌也
- 佐久広域 ; 早水卓也、井出亮
- 松本広域 ; 小池達也
- 上伊那広域; 菅野明子、宮田信子
- 南信州広域; 島崎智美、竹重伸顕、畔上浩一、熊谷充子

## 14 講師養成中央等派遣研修

- ① スーパービジョン研修（8月27～28日・大阪、11月12～13日・東京）  
永池幹（大阪）／坂口功（大阪）  
三村仁志（東京）／青柳興昌（東京）／勝又小百合（東京）
- ② 基礎研修講師養成研修（12月10日・東京）  
駒村和文（東京）／角田信治（東京）／森貴男（東京）
- ③ 虐待対応専門研修～アドバイザーコース～研修（12月3～4日・前期、2月18～19日・後期、東京）  
永池幹／金箱翼／渋沢昌記／依田あけみ
- ④ 現場のための障害者虐待防止研修～行政対応者コース～（10月29～30日・東京）  
平澤大介／関口あい子／駒村和文
- ⑤ 障がい者の地域生活支援研修（11月26～27日・前期、1月14日・後期、東京）  
澁澤昌也
- ⑥ 成年後見人養成新研修講師養成研修（11月26～27日・東京）  
上條弘／高橋保行／小林俊之
- ⑦ 自殺予防ソーシャルワーク研修（2月4日～5日・東京）  
上條通夫／佐藤もも子
- ⑧ 行政関係者・関係団体むけ高齢者虐待防止・対応のための研修会（2月27日・東京）  
宮本雅透

# IV 広報事業

## 1 広報紙発行

### (1) 発行部数

2,200部 (会員+事業所向け)

### (2) 発行概要

- ・公益社団移行に併せ広報紙のロゴを変更
- ・寄稿者延べ人数 75人
- ・連載：信州ぐるっと!!、リレーエッセイ、私の地区の学習会

### ① 広報紙第154号 平成28年5月1日発行

- ・長野県社会福祉士会公益社団法人化!!
- ・県内4地区で地区総会を開催
- ・権利擁護セミナー
- ・「ガレキとラジオ」上映会&講演会
- ・権利条約・障害者差別解消法等を考えるシンポジウム

### ② 広報紙第155号 平成28年7月1日発行

- ・平成28年度福祉まると学会報告
- ・長野県社会福祉士会の変遷
- ・委員会紹介：広報編集委員会
- ・特集「新入会者さん、いらっしゃ〜い」

### ③ 広報紙第156号 平成28年9月1日発行

- ・「生命の尊厳の冒瀆」会長声明
- ・災害福祉支援フォーラムを開催
- ・特集「大規模災害にどう向き合うべきか？」
- ・基礎研修 42人が修了!!

### ④ 広報紙第157号 平成28年11月1日発行

- ・判断能力十分でない  
高齢者・障がい者の権利擁護の推進
- ・権利擁護センターばあとなあながのの取り組み
- ・後見実務のスキルアップを  
めざすための実務研修
- ・特集「地域が変わる！」

### ソーシャルネットワークの試み

### ⑤ 広報紙第158号 平成29年1月1日発行

- ・年頭書簡 長野県社福士会はどこに向かうか
- ・社会福祉士会として虐待と向き合う!
- ・重症心身障がい児・者シンポジウム
- ・障がいを理由とした  
差別の解消に向けた地域セミナー

### ⑥ 広報紙第159号 平成29年3月1日発行

- ・セミナー・シンポ一斉開催
- ・社会福祉士として仕事を行う上で  
影響を与えられた人物
- ・特集「大規模災害にどう向き合うべきか？」

## 2 パンフレットの作成

## 3 ホームページのリニューアル 会員専用ホームページの新設

ながの社会福祉士会広報154号 2018年5月1日発行

# ながの社会福祉士会 NEWS

第154号 2016.5.1

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会 ■会長：三浦 仁志 ■発行部数：2,200部  
〒380-0839 長野市南高井685-2 長野県社会福祉会6F ■専務：藤原 浩二  
TEL：026(266)0294 FAX：026(266)0339 E-mail：info@nacsww.jp http://nacsww.jp/ ■編集：広報編集委員会

### 目次

長野県社会福祉士会 公益社団法人化!!	1	福祉関係者のためのマイナンバー研修会!!	7
県内4地区(東・北・西)で地区総会を開催	2~3	信州ぐるっと!!	8
権利擁護セミナー「ガレキとラジオ」上映会&講演会	4	上小ブロック学習会	8
権利条約・障害者差別解消法等を考えるシンポジウム	6	今後の予定・編集後記	8

### 長野県社会福祉士会 公益社団法人化!!

平成28年4月1日、本会は長野県から公益認定され即日法務局に登録をしました。都道府県社会福祉士会の中で、公益社団化は全国15番目、そして一般社団かつ公益社団への移行は本会が第1号となります。本会は、定款第4条目的の第1項に「社会福祉の援助を必要とする県民の生活と権利の擁護に関すること」と明文化し、権利擁護を最重要課題にしています。

高齢者・障がい者の虐待対応、児童虐待・DV電話相談、成年後見制度の普及等今まで以上に積極的に取り組んでいます。また、県民に福祉の理解を促すための各種セミナー・シンポジウムの開催や、社会福祉士の専門性を高めるため、認定社会福祉士専門研修の企画実施等に取り組んでいます。

### 公益社団化を記念して、6月4日「福祉まると学会開催！」

この学会には、会員に限らず関心のある方はどなたでも参加できます。大勢のご参加お待ちしております。

1 日時：6月4日(土) 13:20~	4 公益社団法人移行 記念講演
2 会場：長野大学(上田市下之郷608-1)	『社会福祉士・社会福祉士の未来を語る』
3 日程：実践報告&研究発表 13:20~15:20	○松山慶樹氏(日本社会福祉士会副会長)
分科会は、高齢者、障がい、児童・教育、地域福祉、権利擁護等を予定(各分野4名ずつ発表、分科会開催可能)	○中村英二氏(長野大学学長、前本会理事)
	○菅原 潤氏(日本社会事業大学大学院特任教授、本会元会)
	※18:30~ 上田県民ホールにて、公益社団法人記念交流会開催

### 虐待対応・県弁護士会と新協定締結/県健康福祉部長と懇談!

高齢者虐待防止法が施行して10年経過し、障害者虐待防止法が施行してから5年目を迎えるとしています。虐待発生動向や長野県の虐待状況調査結果では虐待件数が増加傾向にあります。このような状況の中で、本会は長野県弁護士会と高齢者の虐待対応に市町村支援の専門チームの派遣を行ってまいりましたが、平成28年4月からは障がい者虐待にも対応すべく協定を締結しました。高齢者・障がい者虐待対応の第一義的責務を担うのは市町村ですが、その市町村を指導する長野県との連携・協働が不可欠となります。本会と県弁護士会では、4月15日に山本県民長野県健康福祉部長へ要望・懇談を行い、その後記者会見を行いました。

懇談後の記者会見(H28.4.15 発行)

2016.7.1 第155号 ながの社会福祉士会 NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会 ■会長：三浦 仁志 ■専務：藤原 浩二 ■TEL：026-266-0294 ■FAX：026-266-0339 ■E-mail：info@nacsww.jp ■HP：https://nacsww.jp/ ■編集：広報編集委員会 ■発行部数：2,200部

### 目次

平成28年度福祉まると学会	1	特集「新入会者さん、いらっしゃ〜い」	6~7
福祉まると学会 分科会	2	「生命の尊厳の冒瀆」	8
福祉まると学会 記念講演	3	私の地区の学習会	8
長野県社会福祉士会の変遷	4	今後の予定・編集後記	8
委員会紹介~広報編集委員会	5		

### 平成28年度 福祉まると学会 記念懇談「社会福祉士・社会福祉士の未来を語る」

公益社団法人 長野県社会福祉士会

平成28年度福祉まると学会は、県下から182人の参加者を迎え、長野大学(盛大に開催された)。学会分科会は、高齢者、障がい、児童・教育、地域福祉、権利擁護の5分科会で合計20人の会員が実践報告を行った。その後、公益社団法人移行・記念懇談が「社会福祉士・社会福祉士の未来を語る」をテーマに行われました。(詳細2~3頁)

#### アンケートから①(実践報告)

○自分関わっている分野でない実践報告は学ぶことが多かった。自分の事業所での課題について今日聞いた事例を重複含む部分もあったので、自分の事業所に持って帰って、これから考えていこうと思いました。

○現場の活きたきと実践を聞くことができ、力をいただいたように思います。自分の職場だけの知識でなく、他の分野での活躍を知ることが視野を広げる機会になりました。

○実践、研究、様々な切り口からの発表、とても勉強になりました。学ぶ機会が得られたと感じました。

○誰でも参加できること、実践事例を聞いたこと、手、無料、土曜開催、日曜懇談会や学習会など苦手な私ですが参加しやすく、また勉強になりました。

○分科会は時間内に効率よくまわるようになってよかったです。

○まると学会はとも満足です。「よかったな」と思いながら帰路を帰ります。ありがとうございました。

○県内で活躍されている多くのソーシャルワーカー

#### アンケートから②(記念・懇談)

○社会福祉士として社会に貢献できることとして、自己のスキルアップをしていくことが大切ということを再認識しました。

○社会福祉士の団体として転換期、これからの期待が強いこと。自分自身を磨くこと、研修していくことが日々活かされる社会により目を向けていくことの大切さを感じました。

○今後、社会福祉士を自覚していくのに大切なことは何なのか、考えていくようになり、実践的な社会福祉士を目指したいと思いました。

平成28年度 定時総会  
定時総会は、学会終了後、長野大学リブホールにて開催。議長に高田清子会員を選出し議長入り、

①平成27年度決算、②理事の選任、③理事及び監事に  
対する報酬等支払規則の制定、④委員会設置規則の制定、  
⑤規則の一部改正の5議案を原案とあり承認しました。

# 2016.9.1 第56号 ながの 社会福祉士会 NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会 事務局：〒380-0836 TEL：026-266-0294  
会長：三村仁志 長野市新南川685-2 長野県社会福祉会6F FAX：026-266-0339  
編集：広報編集委員会 発行部数：2,200部 E-mail：info@nacsw.jp HP：https://nacsw.jp

● 生活の危機的状態に社会福祉士が介入する	● 福祉制度 42人が終了!!「私の地域の学習会」
● 社会福祉士会として協働のありか	● 協働のつづき!!
● 協働のありか!!	● リレーエッセイ「リレー」形式の発展
● 協働のありか!!	● 今後の予定
● 協働のありか!!	● 編集後記

Nagano Association of Certified Social Workers

## 「生活の危機的状態」に社会福祉士が介入する

表題は、7月26日未明、神奈川県横浜市の障がい者支援施設において、入所者19人が殺害され、26人が重傷を負ったという衝撃的な事件が話題となりました。この事件は、障がい者に対する差別意識や、社会福祉士が介入する必要性を改めて示しています。この事件の問題・課題等を考えるために「津久井やまゆり園の事件について」の本会会長表明を紹介いたします。

### 津久井やまゆり園の事件について

この事件は、障がい者に対する差別意識や、社会福祉士が介入する必要性を改めて示しています。

障がい者に対する差別意識や、社会福祉士が介入する必要性を改めて示しています。

# 2016.11.1 第57号 ながの 社会福祉士会 NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会 事務局：〒380-0836 TEL：026-266-0294  
会長：三村仁志 長野市新南川685-2 長野県社会福祉会6F FAX：026-266-0339  
編集：広報編集委員会 発行部数：2,200部 E-mail：info@nacsw.jp HP：http://nacsw.jp

● 判断能力が十分でない高齢者・障がい者等の権利擁護の推進	● 福祉制度の今後のありか

Nagano Association Certified Social Workers

## 判断能力が十分でない高齢者・障がい者等の権利擁護の推進

一成年後見制度利用促進法の施行と民法及び家事事件手続法の一部改正

認知症の高齢者や知的・精神障がい者等で判断能力が不十分な人々を支援する「成年後見制度」の利用が盛んになり、同時に民法及び家事事件手続法の一部が改正され、本年10月1日から施行されました。ここでは、主要部分を解説します。

### ● 利用促進法第3条の基本理念 ●

- ① 成年後見人等が、等しく基本的な人権を享有する個人としてその尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい生活を保障されるべきこと。
- ② 成年後見制度の利用の促進は、成年後見制度の利用に係る需要を適切に把握し、市民後見人等を含むこと等により、地域における必要に的確に対応すること。
- ③ 成年後見制度の利用の促進は、家庭裁判所、関係行政機関、地方公共団体、民間の団体等の相互の協力及び適切な役割分担の下に、必要体制を整備すること。

### ● 第11条の基本方針の要旨・抜粋 ●

第11条の基本方針は、成年後見制度の利用者の権利利益の保護に関する政策的方向を踏まえ、高齢者、障害者等の福祉に関する施策との有機的な連携を図りつつ推進され、具体的な基本方針は11項目が象文化されている。

### ● 具体的基本方針の要旨・抜粋（条文には11項目） ●

- ① 成年後見人等である必要な連絡、介護を受けることができるように必要な措置。
- ② 成年後見制度に準じて認知及び認知のために必要な措置。
- ③ 地域住民に対する必要な情報の提供、相談の実施及び助言、市町村長による申立ての積極的取組。
- ④ 成年後見人等研修、情報提供、相談実施、成年後見人等に対する研修の取組の促進。
- ⑤ 成年後見等実地機関の育成、実地機関が積極的に活用されるための仕組みの整備。

### ● 民法及び家事事件手続法の一部改正（H28.10.13施行） ●

- ① 郵便物の受取及び封印
- ② 郵便物の受取及び封印
- ③ 郵便物の受取及び封印
- ④ 郵便物の受取及び封印
- ⑤ 郵便物の受取及び封印

### ● 成年後見制度利用促進研修会 ●

本会では、長野県からの補助金を受けて「成年後見制度利用促進研修会」を市町村行政、地域包括支援センター、障害者総合支援センター職員等を対象に県下4地区で開催します。

- 北信 11月29日：長野市立朝陽公民館
- 中信 12月2日：松本市総合社会福祉センター
- 南信 12月8日：伊那市福祉まちづくりセンター
- 東信 12月13日：東市総合社会福祉センター

# 2017.1.1 第58号 ながの 社会福祉士会 NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会 事務局：〒380-0836 TEL：026-266-0294  
会長：三村仁志 長野市新南川685-2 長野県社会福祉会6F FAX：026-266-0339  
編集：広報編集委員会 発行部数：2,200部 E-mail：info@nacsw.jp HP：https://nacsw.jp

● 年頭書簡	● 社会改革・改良機能

Nagano Association of Certified Social Workers

## 年頭書簡 「長野県社会福祉士会はどこに向かうか」

会長 三村仁志

当会は1992年任意団体として設立され、2016年1月に公益社団法人として再スタートを切り、会員数は2016年には急激に1,000人を突破しています。

組織力や発言力は、県庁幹部の親と親に別れます。人口1万人当たりの会員数は、現在全国4位ですが、県の職員団体の組織力に比べるべきは低い数値です。社会福祉士個人の使命を全うするためには入会が必要不可欠であり、本会会の社会福祉士に声をかけることで組織力のアップを図り、2,000人を目標とします。

また、当会の機能に着目すれば、私は研修機能、ネットワーク機能、社会改革・改良機能だと考えています。

### ● 研修機能 ●

資格取得はスタートラインであり、社会福祉士に人となることから始まります。実力を証明し、社会福祉士の質を担保するために必要な研修は、現在全国4位ですが、県の職員団体の組織力に比べるべきは低い数値です。社会福祉士個人の使命を全うするためには入会が必要不可欠であり、本会会の社会福祉士に声をかけることで組織力のアップを図り、2,000人を目標とします。

### ● ネットワーク機能 ●

私たちは連絡及び職務を業として従事し、会員一人ひとりの現場において、福祉、医療、教育関係等との連携が行われます。さらに、関係団体や専門チームでの連携も重要です。ネットワークは命がけで求められるべきもので、参加する者十の多くは社会正義、人間の尊厳の尊重という価値観を共有・協働できる数少ない仲間だと感じています。私にも仲間を、地域を支援し、次に進む社会改革・改良機能に貢献したいというネットワークがあります。

### ● 社会改革・改良機能 ●

2016年7月の相模原市のやまゆり園事件に対し発信した会長表明は、関係者全員が驚き、感涙によるもので、他県の会員から賛同されることも多く、非常に評価が高いものとなっています。当時発信した会長表明は、社会改革・改良を目指して行っています。

### ● 結論 ●

私がある一つの機能を述べた。これらは世の中に高まっているもので、専門職の社会的責任として自らに課した価値を認識する、そして多くの価値を共有する市民、専門職とネットワークを形成し、使命を全うする機能です。更に当会は、一部の有志が活動するが組織として活動する団体ではありません。公益社団法人としての責任、活動が求められています。それを達成する一人ひとりが口を開き、活動に主体的に参加することを希望したいと思います。

### ● 全県選出理事候補者について ●

選挙事務委員会 委員長 竹内 聖賢  
全県選出理事選挙は、次の3名の立候補届けがあり、定員3名のため選挙は集票せずにより選挙候補者に確定しました。

菅沼公一、現副会長／青柳典男、現副会長  
上田道夫、現監事（届け出順）

# 2017.3.21 第59号 ながの 社会福祉士会 NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会 事務局：〒380-0836 TEL：026-266-0294  
会長：三村仁志 長野市新南川685-2 長野県社会福祉会6F FAX：026-266-0339  
編集：広報編集委員会 発行部数：2,200部 E-mail：info@nacsw.jp HP：http://nacsw.jp

● 総合事業を始める取り組みから学ぶセミナー	● シンポジウム：子どもに寄り添う支援

Nagano Association Certified Social Workers

## 総合事業を始める取り組みから学ぶセミナー

- 日 時 2月18日(日) 13:30~15:30
- 会 場 松本市松南地区公民館
- 参加費 70人
- 内 容 実践報告＆トークセッション
- 講師 恩美 氏（卸代田） 等

## シンポジウム：子どもに寄り添う支援

- 共 催 日本社会事業大学長野支部
- 司 会 2月25日(日) 13:30~16:00
- 会 場 長野市柳原公民館
- 参加者 80人
- 内 容 基調講演＆シンポジウム
- 講師 山ノ内 浩二 氏（日本社会事業大学名誉教授）

## シンポジウム：子どもの貧困を考える

- 日 時 2月25日(日) 13:30~16:30
- 会 場 信大大学2号館
- 参加者 110人
- 内 容 基調講演＆シンポジウム
- 講師 鈴木 史哉 氏（長野大学准教授）

## 東北中南信地区協議会開催!!

地区協議会は2月18日に中野市地区が、2月25日は東北信地区が開催され、平成29・30年度の地区三役や各種委員会役員が4地区合計で170人選出された。\*

※選出された支部長は地区選出理事候補者

※各種委員は、今後委員会が開催され、互選された委員長が委員会選出理事候補者

※理事候補者は6月10日松本大学で開催の定例会で役員に選出され正式に始まる。

障がい者に対する差別意識や、社会福祉士が介入する必要性を改めて示しています。

## V 成年後見事業（権利擁護センター ばあとなあながの）

### 1 成年後見人養成委託研修（共催：山梨県社会福祉士会）

- 日 時 平成 28 年 7 月 10 日、8 月 27 日・28 日、10 月 22 日・23 日
- 会 場 松本市社会福祉総合センター、松本なんなんひろば
- 受講者 56 人（山梨県 13 人）
- 内 容 社会福祉士と成年後見、成年後見制度の解説、成年後見活動のための精神医学、家庭裁判所の実務の理解、演習、財産法の基礎、財産管理のための知識、後見事務の実際、家族法の基礎、身上監護、修了評価
- 講 師 澤地雅弘氏（長野県弁護士会員）  
村田志保氏（北アルプス医療センター副院長）  
渡邊貴樹氏（リーガルサポートながの会員）  
谷水文香氏（長野家庭裁判所松本支部庶務課長）
- 会員講師：三村仁志、山田兵治、上條弘、鳥羽弘幸、北原俊憲、毛利公子

### 2 福祉関係者のための成年後見制度活用講座（共催：長野県社会福祉協議会）

- 日 時 平成 28 年 10 月 19・20 日
- 会 場 ビレッジ安曇野
- 受講者 51 人
- 内 容 福祉サービス利用と成年後見制度、成年後見制度の概要、日常生活自立支援事業と成年後見制度、法定後見等の申立ての実務、任意後見制度と契約締結の実務、成年後見人等の職務、グループ討議・全体討議
- 講 師 小松和茂氏（リーガルサポートながの会員）  
粕 信雄氏（松本公証役場 公証人）
- 会員講師：小池正志／小林俊之／北原俊憲／倉科準二

### 3 成年後見制度利用促進のための研修会（県補助事業）

- 日時・会場・受講者

平成 28 年 11 月 29 日（火）	長野市立柳原公民館	36 人
平成 28 年 12 月 2 日（金）	松本市総合社会福祉センター	32 人
平成 28 年 12 月 8 日（木）	伊那市福祉まちづくりセンター	25 人
平成 28 年 12 月 13 日（火）	東御市総合福祉センター	31 人
- 内容・講師
  - ① 成年後見制度と高齢者・障がい者の権利擁護について  
会員講師：金川洋
  - ② 成年後見制度と市町村長申立て等の意義と根拠について  
講師：長野県弁護士会員（岡室恭輔氏／山崎秀隆氏／五味弘行氏／堀米美聡氏）
  - ③ 成年後見制度の果たす役割と利用手続きについて  
講師：リーガルサポートながの会員（高野哲浩氏／唐澤鎮江氏／戸田雅博氏／内堀誠司氏）

#### 4 権利擁護センターばあとなあながの全体研修会

- 日 時 平成 28 年 5 月 21 日 (土)
- 会 場 中野市中央公民館
- 内 容 北信ブロック活動の報告  
NPO 法人北信ふくしM ネット  
北信圏域権利擁護センター 相談員 永池 幹  
事例検討 グループワーク
- 受講者 40 人

#### 5 ばあとなあながの 4 地区全体研修会 (基本実務研修)

- 日時・会場・参加者  
平成 28 年 11 月 6 日 (日) 東信地区 東御市総合福祉センター  
平成 28 年 11 月 20 日 (日) 中信地区 松本市梓川公民館  
平成 28 年 12 月 17 日 (土) 南信地区 伊那市社会福祉協議会  
平成 29 年 1 月 29 日 (日) 北信地区 長野市ふれあい福祉センター
- 受講者 91 人
- 内 容 成年後見基本実務研修 科目 2 「受任直後の事務」  
成年後見基本実務研修 科目 3 「後見実務と記録」  
グループワーク・講義・実習
- 会員講師：春原伸行／宮入典子／守屋幹雄／花田百恵／衛藤史郎／渋谷昌記／小林俊之

#### 6 成年後見個別・無料相談会

- 主 催 長野県成年後見関係団体連絡会 (9 団体で構成) 長野県社会福祉協議会

##### 【長野県成年後見関係団体連絡会】

長野県弁護士会 (ひまわり長野) / (公社) 成年後見センター・リーガルサポートながの / 長野県社会福祉士会 (ばあとなあながの) / 長野県精神保健福祉士協会 / 公益社団法人長野県介護福祉士会 / 関東信越税理士会長野県支部連合会 / NPO 法人長野県介護支援専門員協会 / (一社) コスモス成年後見サポートセンターしなの / (一社) 社労士成年後見センター長野

- 共 催 岡谷市・須坂市・木曾町・坂城町 各社会福祉協議会
- 日 時 平成 28 年 11 月 11 日 (金) 11:00~15:00
- 会 場 おかや総合福祉センター (諏訪湖ハイツ) 相談件数：5 件  
すぎか女性未来館 相談件数：4 件  
日義農村環境改善センター 相談件数：2 件  
坂城町老人福祉センター 相談件数：5 件
- 会員相談員  
北原俊憲／桜井幸雄／浅井茂／佐藤優子／南原友枝／秋葉多岐子／春原伸行／前川祥

#### 7 権利擁護センターばあとなあながの業務監査委員会

- 日 時 平成 29 年 3 月 7 日 (火) 10:00~12:00
- 会 場 長野県食糧会館 2 F
- 内 容 ① ばあとなあ事業・運営、後見受任者の活動内容等の業務監査  
② ばあとなあ業務・運営等に対する業務監査委員会からの指導・助言

## VI 生活支援等事業(受託事業)

### 地域生活定着支援センター事業

#### 1 受託事業

高齢者や障がい者が矯正施設退所後、自立生活が困難な場合、保護観察所と協働して、福祉サービスの利用を援助すること等により、自立生活ができるよう支援を行う。

長野県から委託を受けて事業を実施。(受託費：1,850万円)

#### 2 主な事業内容

##### ① コーディネート業務

保護観察所からの依頼に基づき、対象者に対してニーズの確認を行い、受入福祉事業所の斡旋、福祉サービスに関わる申請支援を行う。

##### ② フォローアップ業務

コーディネート業務が終了後、地域に定着するまでの間必要に応じて、本人及び福祉事業所等に対して支援を行う。

##### ③ 相談支援業務

被疑者・被告人段階での障がい者・高齢者の支援や矯正施設から退所した方の福祉サービス利用に関して、本人や関係者からの相談に応じ、コーディネート業務同様の相談・支援を行う。

#### 3 支援実績

(単位：人)

業務区分		コーディネート			フォローアップ		
		H28	H27	H26	H28	H27	H26
支援 人数	高齢者	15	20	13	8	8	10
	知的障がい者	10	5	10	3	4	7
	精神障がい者	5	5	3	0	1	2
	身体障がい者	3	3	1	1	1	1
	計	33	33	27	12	14	20
相談 経路	前年度からの継続	14	13	9	5	5	18
	保護観察所	6	14	12	1	2	0
	他県センター	13	6	6	6	7	2
	計	33	33	27	12	14	20
退所時 の 状況	福祉施設	1	1	1	※ 相談支援業務の実数は、国(厚労省)定義の実数。( )内数字は、相談を受けて対応した件数。 ※ フォローアップは、施設に正式入所前のショートで繋ぐ場合、また病院入院の場合も含め期間限定のため、定着支援センターでは満期出所支援のコーディネート業務と全く同じである。 ※ フォローアップは、正式入所できて問題行動を起こし出所2年経過しても継続支援しているケースがある。		
	居宅生活	1	3	4			
	更生保護施設	3	4	1			
	救護施設	0	1	0			
	病院	2	0	2			
	他県帰住等	10	10	6			
	特別調整辞退	3	0	0			
計	20	19	14				

#### 4 セミナー・研修会

(1) 累犯障がい者・高齢者支援を考えるセミナー（詳細：セミナー開催事業に記載）

- 日時会場 平成 28 年 11 月 2 日（水）13：00～16：30 松本市浅間温泉文化センター

(2) 矯正施設視察研修会

- 日時会場 平成 28 年 11 月 16 日 長野刑務所 22 人
- 日時会場 平成 29 年 1 月 11 日 松本少年刑務所 18 人
- 日時会場 平成 29 年 2 月 10 日 松本少年刑務所 10 人
- 日時会場 平成 29 年 2 月 27 日 松本少年刑務所 17 人

#### 5 運営体制等

- 困難ケースの指導・助言を中心に、定着支援センター運営委員会を開催
- 職員は、センター長含む支援スタッフ 計4人

### 児童虐待・DV24 時間ホットライン業務

#### 1 受託事業

「児童虐待・DV24 時間ホットライン」を設置し、児童虐待及びDVに関する通告等に 24 時間態勢で電話相談対応する業務。

相談件数の増加と共に、内容が一層複雑化しており、電話相談対応に高度な専門性が求められている中で、電話相談対応の質の維持向上を図るため、公募型プロポーザル方式により今年度から受託（受託費：1,034 万円）

#### 2 業務の内容

- ・ 電話による児童虐待及びDVに関する通告、通報及び緊急の相談等の受理
- ・ 緊急事案を受理した際の児童相談所又は女性相談センターへの速やかな連絡
- ・ その他、電話相談業務全般に付帯する業務

#### 3 業務の体制

- ・ 1日24時間（夜間・深夜・早朝含む）、365日電話相談を受ける相談員（臨時職員）6人を雇用して対応
- ・ 毎月1回 電話相談員定例会を開催し情報の共有、相談業務の向上を図っている。

#### 4 通告通報・相談件数等

平成 28 年度 「児童虐待・DV24 時間ホットライン」受付及び処理状況（4～3月）

##### 1 通告通報・相談件数

##### 2 処理状況

	相談種別	前年度	件数	構成比%		緊急連絡	助言・傾聴	他機関紹介	その他
児童 関係	児童虐待	173	149	9.0%	➔	105	9	19	16
	養護	140	116	7.0%		33	32	42	8
	その他(*1)	664	760	46.1%		536	54	56	113
	小計	977	1,025	62.2%		674	95	117	137
DV 女性 関係	DV被害	44	41	2.5%		10	6	24	1
	夫婦問題	49	23	1.4%	0	7	16	0	
	親族の暴力	13	27	1.6%	3	11	13	0	
	その他(*2)	220	58	38.9%	10	16	21	12	
	小計	326	149	9.0%	23	40	74	13	
その他(*3)		310	474	28.8%	0	36	28	410	
合計		1,613	1,648		697	171	219	560	

\* 1 「児童関係」の「その他」は、虐待以外の児童・生徒からの相談や、関係機関等からの業務連絡

\* 2 「DV・女性関係」の「その他」は、親族問題、住居問題などの相談や、関係機関等からの業務連絡

\* 3 「児童関係」、「DV・女性関係」以外の「その他」は、無言電話、問い合わせ電話など

## Ⅶ 法人運営

### 1 定時総会

- 日時：平成28年6月4日（土） 会場：長野大学

- 出席正会員数（委任状を含む） 628人

- 議事事項

- 第1号議案 平成27年度 決算について

- 平成27年度 監査について

- 第2号議案 理事の選任について

- 第3号議案 理事及び監事に対する報酬等支払規則の制定について

- 第4号議案 委員会設置規則の制定について

- 第5号議案 規則の一部改正について

- 報告事項

- (1) 平成27年度 事業報告について

- (2) 平成28年度 事業計画について

- (3) 平成28年度 収支予算について

- (4) 長野県社会福祉士会制定及び一部改正した規程等

- 公益社団法人長野県社会福祉士会 定款

- 諸規程等の作成及び管理に関する規程

- 会長声明文発信に関する規程

- 謝金・旅費支払規程

- 個人情報保護規程

- 地区活動設置規程

- 権利擁護センターぱあとなあながの設置運営規程

- 権利擁護センターぱあとなあながの名簿登録規程

- 権利擁護センターぱあとなあながの設置運営規程細則

### 2 監査会

- 日時：平成28年 4月23日（土） 会場：長野県社会福祉士会事務局

- 日時：平成28年10月27日（木） 会場：長野県社会福祉士会事務局

### 3 理事会

- 第1回通常理事会 平成28年4月23日（土） 会場：長野県食糧会館2F

- 議事事項

- 第1号議案 平成27年度 事業報告について

- 第2号議案 平成27年度 決算報告について

- 監査報告について

- 第3号議案 欠員理事の選任について

- 第4号議案 常任理事の選任について

- 第5号議案 職員給与規程の改正について

- 第6号議案 職員退職金規程の改正について

- 第7号議案 職員自家用公用車取り扱い実施要綱の制定について
- 第8号議案 平成28年事業計画の変更について
- 第9号議案 平成28年度の収入支出補正予算について

● **第2回通常理事会** 平成28年6月25日(土) 会場：障がい者支援施設「ささらの里」

○ 議事事項

- 第1号議案 長野県社会福祉士会 正会員の入会について
- 第2号議案 長野県社会福祉士会 賛助会員の入会について
- 第3号議案 会員に対する寄付金の依頼等に関する内規の一部改正について

● **臨時理事会** 平成28年7月29日(金)

議案 「津久井やまゆり園の事件」に対する会長声明について

● **第3回通常理事会** 平成28年8月27日(土) 会場：障がい者支援施設「ささらの里」

○ 議事事項

- 第1号議案 長野県社会福祉士会 正会員の入会について
- 第2号議案 長野県社会福祉士会 賛助会員の入会について

● **第4回通常理事会** 平成28年11月20日(日) 会場：長野県食糧会館2F

○ 議事事項

- 第1号議案 長野県社会福祉士会 正会員の入会について

● **第5回通常理事会** 平成29年1月21日(土) 会場：障がい者支援施設「ささらの里」

● **第6回通常理事会** 平成29年3月4日(土) 会場：長野県食糧会館2F

○ 議事事項

- 第1号議案 正会員の入会について
- 第2号議案 賛助会員の入会について
- 第3号議案 運営安定化積立金設置・運用規程の制定について
- 第4号議案 特定資産 備品購入積立預金の取り崩しについて
- 第5号議案 大規模災害発生時対応要綱の一部改正について
- 第6号議案 大規模災害支援積立金設置・運用規程の制定について
- 第7号議案 特定資産 退職手当積立預金の取り崩しについて
- 第8号議案 給与規程の一部改正について
- 第9号議案 平成29年度 事業計画について
- 第10号議案 平成29年度 収支予算について
- 第11号議案 次期定着支援センター運営委員会委員の選出について

#### 4 正副会長会議

- 4月15日／5月25日／6月27日／7月19日／8月8日／9月12日／9月26日  
10月4日／11月20日／12月15日／1月4日／1月21日／2月22日／3月4日

## 5 会長声明等

### (1) 津久井やまゆり園の事件について(平成28年7月29日)

#### 津久井やまゆり園の事件について

7月26日未明、神奈川県相模原市の障がい者支援施設において、入所者19人が殺害され、26人が重軽傷を負われるという悲惨な事件が起きてしまいました。

戦後最悪と言われるこの事件に際し、全ての人が人間としての尊厳を有し、価値ある存在であり、平等であることを深く認識している私たち長野県社会福祉士会は、亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、怪我をされた方々の1日も早い回復を心から願っております。

この事件は、障がい者に対する究極の人権侵害であり、虐待であり、生命の尊厳を冒瀆するものです。この行為を私たちは断じて許すことが出来ません。

福祉の担い手であったはずの男性がこのような事件を引き起したことについて、日本の福祉の脆弱さ・未成熟さを思わざるを得ません。とりわけ、男性が元職員であるという背景を考えると、労働環境や人材育成までも含めた、日本の福祉現場の危機的な状況が露呈したものとも捉えられます。

しかしながら私たちは、重度の重複障がいを持ちながら懸命に生きる人々のそばにいて、命の素晴らしさ、人間の尊厳の素晴らしさを深く認識しています。

障がい者を蔑視する考えは、心のバリア(差別意識)そのものであり、社会的障壁そのものです。人を人とも思わない考え方と行動は、障がい者だけでなく、社会的弱者に対するヘイトクライム(差別意識に基づく虐待行為)です。

殺害された19人の氏名について、ご遺族からの要望があって非公表となったとの報道がなされました。そこには、今なお障がい者に対する社会の差別、偏見に苦しむ家族の姿があり、まさに、障がい者は社会の方にあると考えます。

「この子らを世の光に」と言った糸賀一雄先生の思想は、重度の障がい者が社会の中心にいて、その人らしく生きられる社会こそが、誰もが幸せに暮らせる本当の豊かな社会であるというものです。半世紀前のこの思想も、先進国と言われる日本社会において未だ実現に至っていません。

私たち長野県社会福祉士会は、様々な関係機関・団体等と連携しながら、人間の尊厳を尊重するという意識を、社会の隅々まで浸透させ共有し、障がいがあっても差別されない共生社会の実現を目指して取り組みます。

平成28年7月29日

公益社団法人長野県社会福祉士会  
会長 三村仁志

信濃毎日新聞(H28.7.30 第1社会面)

## 「生命の尊厳の冒瀆」

### 県社会福祉士会が会長声明

相模原市の障害者施設殺傷事件を受け、長野県社会福祉士会(三村仁志会長)は29日、事件は障害者への究極の人権侵害、虐待であり、生命の尊厳の冒瀆と非難し、「人間の尊厳を尊重するという意識を、社会の隅々まで浸透させ共有し、障がいがあっても差別されない共生社会の実現を目指す」とする会長声明を発表した。殺害された19人の氏名が遺族の要望で公表されないことには「障がい者に対する社会の差別、偏見に苦しむ家族の姿がある」と懸念した。

声明は、事件が間違った行動だと改めて発信する狙いで発表。元職員が事件を引き起こしたことに對し、労働環境や人材育成といった「日本の福祉現場の危機的な状況が露呈した」と強調し、正しい理念や倫理を学ぶ大切さを訴えた。

三村会長は取材に、19人の氏名を非公表にすることは、「障害がある人が平等でないことの表れではないか」と指摘。「容疑者1人の異常性で終わらせず、日本の福祉システム、社会全体の問題として向き合うべきだ」と強調した。

(2) 県弁護士会との虐待対応に係る

県健康福祉部長との懇談・記者会見

弁護士と社会福祉士による「虐待対応専門職チーム派遣」が、高齢者加え障がい者にも対応する協定調印に基づき、県との連携等進めるために要望と懇談。その内容を会見で発表

① 日時 平成28年4月15日(金)

② 対応者 県健康福祉部

山本英紀 健康福祉部長  
 滝沢弘 地域福祉課長  
 井上雅彦 介護支援課長  
 山崎敏彦 障がい者支援課長補佐 他

③ 要望者

県社会福祉士会 三村仁志 会長  
 萱津公子 副会長  
 宮本雅透 担当理事  
 小池正志 事務局長  
 県弁護士会 黒田信 副会長  
 五味弘行 高齢者・障害者委員長  
 山本恭子 高齢者・障害者副委員長

④ 長野県知事への主な要望内容

高齢者・障がい者の虐待対応について(要望・懇談内容 要旨)

長野県弁護士会・長野県社会福祉士会

高齢者虐待防止法が施行して10年経過し、障害者虐待防止法が施行してから5年目を迎えようとしています。厚生労働省や長野県の虐待状況調査結果では虐待件数が増えている状況にあります。

このような状況の中で、長野県弁護士会・長野県社会福祉士会は、高齢者の虐待対応に専門職派遣を平成25年度から実施してきたのに続き、平成28年4月からは障がい者の虐待にも対応すべく協定を締結しました。

私たちは、「虐待は極めて重大な権利侵害である」という認識のもと、長野県と有機的に連携し、虐待対応の市町村支援を行い、高齢者・障がい者が虐待を受けることなく、その人らしい人生を送れよう取り組みます。

については、長野県においても趣旨ご理解の上、市町村行政に対する指導及び事業者に対する働きかけ等協働していただきますようお願いいたします。

- 1 市町村支援の虐待対応専門職チーム派遣の積極的な活用について
- 2 高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法の普及について
- 3 高齢者及び障がい者虐待対応等の研修会について
- 4 虐待対応・権利擁護のために成年後見制度の活用について



高齢者や障害者虐待対応で助言  
 専門職チーム結成

県弁護士会と県社会福祉士会と県社会福祉士会の関係者15日県庁

県弁護士会と県社会福祉士会は15日、県庁で記者会見し、高齢者や障害者への虐待に関する相談を受けた市町村や地域包括支援センターなどに専門的な助言をする「高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム」を結成したと発表した。2013年に高齢者虐待に関する相談を受けた市町村や地域包括支援センターなどに専門的な助言をする「高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム」は今年1日に結成した。市町村などの要請で、虐待の有無を認定したり、虐待の解決策を提案したりする。福祉士が各20人ほど所属している。

面会は会見に先立ち、県の山本英紀・健康福祉部長らと面会し、チームの市町村への周知と積極的な活用を求めた。県弁護士会の五味弘行弁護士は会見で「チームの派遣が増えることで虐待への理解が増し、結果として予防につながる」と述べた。

県障がい者支援課によると、県内で14年度にあった障害者の虐待に関する相談や通報の内容は、家族ら養護者からの虐待が58件、福祉施設の従事者からの虐待が37件あった。

## VIII 委員会・地区活動・全国会議等

### 1 委員会活動

#### (1) 一般委員会

- ① 福祉活動委員会 6月4日
- ② 虐待対応委員会 4月23日／6月4日／5月20日（県関係課、県弁護士会との打合せ会議）  
5月29日／10月1日／3月3日（管理運営委員会兼研修会）
- ③ 広報編集委員会 6月4日／12月6日／3月18日  
広報紙発行時メールで校正&次号企画会議

#### (2) 事業委員会

- ① 生涯研修センター運営委員会
  - 生涯研修委員会 6月4日
  - 基礎研修部会 12月3日（近県社士会意見交換会）
  - 専門研修部会（福祉専門研修部会） 4月14日／6月7日／7月20日／9月1日
- ② 権利擁護センターぱあとなあながの運営委員会
  - 運営委員会 5月7日／6月4日／9月10日／2月4日
  - 役員会 5月7日／6月4日／9月10日／2月4日
  - 広報部会 4月9日／7月10日／11月19日／1月22日
  - 研修部会 5月15日／6月5日／8月21日／10月1日／1月8日
- ③ 地域生活定着支援センター運営委員会  
4月28日／6月16日／7月21日／9月8日／11月17日／12月15日／1月26日／3月23日

#### (3) その他（選挙管理委員会）

- 平成28年10月17日（月） 委員長選任、役員改選に向けて告示等日程確認
- 平成28年12月21日（水） 全県理事立候補者及び選挙日程等の確認
- 平成29年4月6日（木） 全県理事立候補者及び選挙日程等の確認

### 2 地区活動

#### (1) 東信地区（上小ブロック、佐久ブロック）

- ① 学習会
  - 佐久ブロック 5月28日／9月10日／9月17日／11月26日
  - 上小ブロック 11月26日／3月17日
- ② 地区総会 平成29年2月25日
- ③ 役員会 4月12日／4月27日／6月29日／7月27日／8月22日／10月1日  
12月21日／1月13日

**(2) 北信地区（長野ブロック、北信ブロック）**

- ① 学習会 7月19日／8月31日／11月17日／1月19日  
ひよこ部会 2月4日
- ② 地区総会 平成29年2月25日
- ③ 役員会 5月24日／9月28日／12月1日

**(3) 中信地区（松本ブロック、大北ブロック、木曾ブロック）**

- ① 学習会
  - 中信ブロック 6月25日／8月19日／9月16日／10月21日／11月18日／1月28日
  - 大北ブロック 11月11日
  - 説明会 7月16日／9月24日
- ② 地区総会 平成29年2月18日
- ③ 役員会 4月14日／8月18日／1月12日

**(4) 南信地区（諏訪ブロック、上伊那ブロック、南信州ブロック）**

- ① 学習会
  - 上伊那ブロック 7月20日／9月21日／11月19日／1月18日／3月22日
  - 南信州ブロック 7月21日／9月15日／12月8日／1月19日
  - 諏訪ブロック 7月2日／9月3日／12月3日
- ② 地区総会 平成29年2月18日
- ③ 役員会 10月25日／12月3日／2月4日

**3 日本社会福祉士会／関東甲信越ブロック会議への出席**

- 関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議 4月23日（本藤会員）
- 都道府県ばあとなあ連絡協議会 5月21日～22日（衛藤ばあとなあ事務局長）
- 日本社会福祉士会通常総会 6月18日（三村会長）
- 都道府県社会福祉士会会長会議 9月3日～4日（三村会長）
- 全国生涯研修委員会議 9月24日～25日（青木生涯研修センター委員長、関事務員）
- 日本社会福祉士会関東甲信越ブロック連絡協議会 2月4日（萱津副会長）
- 日本社会福祉士会臨時総会 3月18日（三村会長）